

平成28年度青少年アンビシャス運動支援の会助成事業(後期採択事業)一覧

(長期継続活動支援事業)

| 申請<br>番号 | 申請団体名               | 活動名  | 活動内容  | 青少年参加対象者                     |
|----------|---------------------|--|---|------------------------------|
|          | 住所                  | 活動期間   |   | 人数                           |
| 1        | 田川 de 寺子屋<br>プロジェクト | むすんでひらいて そば打って                               | 幼児の情操を育み、良い生活習慣を意識づけし身に付けさせるために、田川地区では保育所での偉人伝を語る情操向上事業などを実施されてきたが、今年度から新たに、子どもたちに荒れ果てた遊休農地に蕎麦を播き、収穫し、蕎麦打ちまで体験させることで、生産する喜びや食の基本である命を頂いていることへの感謝に気付かせることで、食の有難みが薄れている現在において、幼児期より良い生活習慣を習得させ、情操教育に結びつけようとする試み。<br>また、荒廃している里山の復興に寄与し、環境の保全や地域の活性化にもつなげていこうとされている。<br>【環境保全関連】<br>【食育関連】 | 幼児<br>(2～6歳)                 |
|          | 田川郡川崎町              | [1年目]<br>平成28年8月～平成29年3月<br>(平成28年度～平成30年度)  |   | 100名                         |
| 2        | NPO法人<br>がんサーサポート   | 未来ある子どもたちに伝えたい<br>「いのちのホームルーム」<br>がん教育プロジェクト | 患者スピーカーや保健師を小学校に派遣し、授業の形態で「がん」への正しい知識や「生きること」の大切さを学ばせることにより、子どもたちの心身の成長を促すとともに、「がん」予防普及を図ってこられたもの。<br>26年度に8小学校で試行予定が15校に急増。本格的に取り組まれた27年度には28校(小学校～高校まで)で実施され、地元を越えて急速に拡大している。<br>長期継続事業2年目の28年度は、既に20校以上での実施が決定済みであり、加えて福岡県と福岡市のモデル校での取り組みも予定されているとのこと。<br>(26年度、27年度後期に助成歴あり)        | 小学校5・6年生<br>～高校生<br>(10～18歳) |
|          | 福岡市東区三苫             | [2年目]<br>平成28年8月～平成29年3月<br>(平成27年度～平成29年度)  |   | 8,000名                       |
| 3        | 羽根木東区寺子屋<br>(家庭塾)   | 子どもたちの子どもたちによる<br>子どもたちのための環境活動              | 地域のこどもたちに呼び掛け、「楽しく遊び楽しく学ぶ」をモットーに読み聞かせなどの読書活動を13年間実施されてきたもの。<br>27年度に、長期的視点に立った親子での読書会やマス計算広場などを取り入れ、活動の充実を図られたが、2年目の今年は、これまでの活動に加えて、野鳥・野草・花や自然環境のスケッチ教室、天体観測会などにも取り組み、環境面にも目を向けた形での事業展開が考えられているもの。<br>【環境保全関連】<br>(21年度、22年度、23年度、27年度前期に助成歴あり)   | 5歳～12歳                       |
|          | 行橋市                 | [2年目]<br>平成28年8月～平成29年3月<br>(平成27年度～平成29年度)  |   | 7歳～12歳<br>(小学生)<br>30名以上     |

平成28年度青少年アンビシャス運動支援の会助成事業(後期採択事業)一覧

(長期継続活動支援事業)

| 申請<br>番号 | 申請団体名              | 活動名   | 活動内容   | 青少年参加対象者                 |
|----------|--------------------|---|--|--------------------------|
|          | 住所                 | 活動期間  |  | 人数                       |
| 4        | 小郡市古賀区<br>こども囲碁教室  | 福岡県こども囲碁交流大会<br>並びに親子入門教室                       | <p>県南のこどもたちが一堂に会し、囲碁を通じた友好を深め、地域における年代を超えた交流を重ねることにより豊かな心や大いなる志を持った青少年を育成していこうとするもので、長期継続活動として採択されたもの。</p> <p>27年度は、福岡都市圏から県南地域までの6囲碁教室と連携し、当教室が推進役となり、組織的で大規模な大会を開催された。</p> <p>28年度は、県内各地の囲碁教室(12団体参加予定)が一堂に会する囲碁大会の開催に取り組んでいく。また、福岡県青少年アンビシャス運動こども囲碁協議会(仮称)の設立に向けた、参加団体で構成する準備委員会を発足する。</p> <p>最終的には、長期的視点に立って、同協議会を核とした囲碁青少年育成事業の定着を実現し、県全域への囲碁青少年交流の拡大を目指すこととされるもの。</p> <p>(21年度、22年度、23年度、27年度前期に助成歴あり)</p>   | 5歳～15歳<br>(中学生まで)        |
|          | 小郡市                | [2年目]<br>平成28年8月～平成29年3月<br>(平成27年度～平成29年度)     |  | 100名                     |
| 5        | NPO法人<br>田主丸町緑の応援団 | 中国沙漠植林ボランティアの旅<br>九州田主丸隊                        | <p>沙漠化を少しでも阻止するため、中国内モンゴル自治区のクブチ沙漠での植林活動に参加させるもの。</p> <p>地元の子どもたちを参加させ体験させることで、地球規模の環境問題や緑化の必要性を学ばせるもの。また、日中の子どもたちの交流の場を設け、国際感覚豊かな青少年の育成につなげようとするもので、昨年度長期継続活動として採択された。</p> <p>28年度も引き続き内モンゴル地域のクブチ沙漠へ中学生6名を派遣するが、環境問題や中国の現状について事前学習を行い、より実のある交流会を開催する。</p> <p>なお、前期申請時には構想段階であった中国側が取り組んでいる植林活動(中国独自の植林は、ほぼ全滅のため)への改善指導については、中国内の環境保全の機運の高まりや、当活動への中国側の高い評価などから、現在、具体的な活動(申し入れ等)ができる情勢となってきたとのこと。最終的には、NPO法人日本沙漠緑化実践協会や在福岡中国総領事館を通して、本活動の継続発展を図っていくとのこと。</p> <p>【環境保全関連】<br/>(27年度後期に助成歴あり)</p> | 12歳～18歳                  |
|          | 久留米市田主丸町           | [2年目]<br>平成28年8月～平成29年3月<br>(平成27年度～平成29年度)     |  | 6名<br>(現在の申込者は<br>全て中学生) |
| 6        | NPO法人<br>ハーティーケア基金 | 日本のおいしい食体験事業<br>～子どもの和菓子づくりと、<br>子ども記者柳橋商店街に行く～ | <p>「日本のいい暮らし」を追求するなかで、『食』をテーマに長期継続事業に取り組まれるもので、子どもたちに、まずは自分たちで和菓子を作ることで、食への関心を持たせることから始められたもの。</p> <p>2年目の28年度には、四季のモチーフをデッサンした和菓子を子ども同士が共同して作り上げることで、四季の移り変わりを彩る日本の食(和菓子)の素晴らしさや食の豊かに触れさせることや、柳橋商店街を取材し独自の新聞を作るなかで、食材の流れや店で働く人々の姿を見せることで、食べることの大切さや食のありがたみを楽しみながら学ばせる。</p> <p>【食育関連】<br/>(27年度後期に助成歴あり)</p>   | 9歳～12歳                   |
|          | 福岡市東区青葉            | [2年目]<br>平成28年8月～平成29年3月<br>(平成27年度～平成29年度)     |  | 30名                      |

平成28年度青少年アンビシャス運動支援の会助成事業(後期採択事業)一覧

(長期継続活動支援事業)

| 申請<br>番号 | 申請団体名                 | 活 動 名                                       | 活 動 内 容  | 青少年参加対象者 |
|----------|-----------------------|---|--|----------|
|          | 住 所                   | 活 動 期 間                                     |  | 人 数      |
| 7        | 特定非営利活動法人<br>なかがわ自然楽会 | 遊休田畑を活用した青少年の<br>農業活動並びに食育活動支援              | <p>東北大震災時に、支援活動として素人米作りを始めた(大人)ことを契機に現在まで継続してきたが、最近、子どもたちの参加が多く見られるようになったことから、今回、子どもたちを中心とした農業体験事業に本格的に取り組むこととした。</p> <p>子どもたちに農業体験をさせることで、水と緑の自然の中で自由な活動を与え、健全なる子ども時代を満喫させる。加えて、生産の喜びを感じてもらうために収穫祭を開催、この活動を長期事業として続けることにより、子どもたちの人格形成や食育活動に結びつけ、地元への定着を図ろうとするもの。</p> <p>また、耕作放棄田畑の蘇生、およびこれら農地所有者の元気回復も含めて、里山の復興につながる活動にしていく。</p> <p>【環境保全関連】<br/>【食育関連】</p> | 5歳～15歳   |
|          | 筑紫郡那珂川町               | [1年目]<br>平成28年8月～平成29年3月<br>(平成28年度～平成30年度) |  | 延べ70名    |

平成28年度青少年アンビシャス運動支援の会助成事業(後期)審査結果一覧

(短期活動支援事業)

| 申請<br>番号 | 申請団体名                         | 活 動 名                                       | 活 動 内 容   | 青少年参加対象者         |
|----------|-------------------------------|---|---|------------------|
|          | 住 所                           | 活 動 期 間                                     |   | 人 数              |
| 1        | 月隈武道館道場                       | 第40回記念月隈少年柔道大会                              | <p>子どもたちに柔道を通して、礼儀や謙虚さ、感謝する心などを体得させ、文武両道の大切さを教えていこうと継続開催されてきた少年柔道大会。県内外120道場が参集する(個人道場が主宰する大会としては)西日本一の大会となっている。今年度は、第40回記念大会となり、幼児から小学生までの約1000名が出場予定とのこと。</p> <p>他県との柔道交流も活発となってきており、九州の少年柔道のレベルを確認できる貴重な機会となっている。</p> <p><b>【スポーツ関連】</b></p>   | 4歳～12歳           |
|          | 福岡市博多区浦田                      | [1回目]<br>平成29年2月～平成29年2月                    |   | 1000名            |
| 2        | 一般社団法人<br>地域企業連合会<br>九州連携機構   | FUKUOKAみらいフェスタ2016                          | <p>子どもたちが自分の親の職場を訪問し、親の働く姿を見ることで、親子の絆を深めるときっかけ作りを行う。</p> <p>併せて、子どもたちに感想文や親への感謝状を作成させ発表する場を与え、親子関係の改善、ひいては子ども自身の心身の成長につなげる。</p> <p>前年度は103企業630名の子どもたちが参加。<br/>今年度は150企業1000名の子どもたちの参加見込み。</p> <p><b>(26年度、27年度後期に助成歴あり)</b></p>  | 幼児～中学生<br>3歳～16歳 |
|          | 福岡市博多区博多駅前                    | [3回目]<br>平成28年8月～平成29年2月                    |   | 1000名            |
| 3        | 総合型地域スポーツクラブ<br>スポーツBRANDEX福岡 | 青少年サイクルスポーツ、<br>一輪車教室、大会<br>および全日本大会遠征      | <p>サイクルスポーツ活動を通して、青少年の健全育成を図ることを目指して「グリーンピアながわ」や「安徳・岩屋両小学校」などで、自転車や一輪車を使った交流スポーツ大会を開催し、子どもたちを起爆剤にした地域の活性化を図った。また、障がいを持つ青少年と健常児がともにスポーツを楽しめる体制づくりに取り組んでいる。</p> <p>27年12月、本町での「全日本室内自転車競技選手権大会」の開催が実現。</p> <p>今年度はこれらの活動に加え、建設中の五ヶ山ダム湖底を舞台にした「五ヶ山ダム湖底活用イベント」にも参加することが決定している。(那珂川町主催:「親子で楽しむ湖底一輪車ハイキング」と「第2回福岡オフロード自転車選手権in五ヶ山ダム」の企画が採択された)</p> <p><b>【スポーツ関連】</b><br/><b>(26年度に助成歴あり)</b></p> | 3歳～18歳           |
|          | 筑紫郡那珂川町                       | [2回目]<br>平成28年8月～平成29年3月<br>(平成28年度～平成30年度) |   | 延べ600名           |